

# 夢は天文学の研究者、 目標は世界的に認知される成果です。

平成18年卒業 東京大学 大学院 理学系研究科 天文学専攻  
理Iコース H. T.さん

## — 現在取り組んでいる研究とは？

天文学とは、惑星、太陽のような恒星、銀河などの天体の成り立ち、宇宙の歴史などを科学的なアプローチで解き明かそうとする学問です。私は中でも、宇宙空間に漂っている「雲」の研究をしています。天文学で「星間空間」と呼んでいる、星と星の間の一見何も無い真っ暗な空間は、実は非常に希薄な「雲」で満たされています。地球上の雲と比べれば「真空」と呼んでも差し支えないくらいに薄い雲ですが、すべての星はその雲の中から生まれてきます。私は、その星の材料となる雲の性質を調べ、星や銀河の進化の謎に迫ろうと日々研究を進めています。

## — 研究でのやりがいを教えてください。

天文学、というと望遠鏡を毎晩覗いているようなイメージを持たれるかもしれませんが、私の研究では実際に望遠鏡を使って観測を行うのは年に数日くらいのもので、最先端の研究で使う高性能な望遠鏡は競争率が高く、なかなか使うのは難しいのです。観測の期間は、昼は準

備、夜は徹夜での作業と、疲労や眠気と戦う大変な日々が続きます。貴重な観測の機会を無駄にはいけないという緊張感の中へとへとになりながらも、無事観測を終了し、すばらしいデータが撮れた時には大変やりがいを感じます。

## — 将来の夢は？

大学や研究機関に勤める天文学の研究者になろうと考えています。自立した一流の研究者として認められるには、若い時代にどれだけ価値のある研究を成したかが非常に重要になります。その意味で、私はこれから研究者として最も重要な10年間を迎えるだろうと思います。これは夢ではなく目標ですが、現在研究しているテーマを深めていき、世界的に認知されるような成果を出したいと考えています。



## — 高校時代の思い出と、 これから舞鶴を受験する 中学生に向けてひとこと。

大変熱意を持った先生方ばかりです。普段の授業から体育祭、文化祭などのイベントまですべて全力投球で、当時は大変だなと感じる時もありましたが、得るものが多かったように思います。3年間大変密度の濃い時間を過ごさせて頂いた先生方には今でも感謝しています。一人ひとりへの指導も大変丁寧で、頑張れば頑張るだけ応えてくれるという雰囲気があるので、何かに「挑戦」したい中学生の方はぜひ福岡舞鶴高等学校を受験すると良いと思います。

